

やとみのよさん

令和8年度弥富市当初予算のあらまし

弥富市



予算の概要

Q1 予算って何？

市は、市民の皆さんが安心して快適な生活を送ることができるように、皆さんの生活に関わるいろいろな仕事をしています。福祉、教育、ごみ処理、防災対策、道路や公共施設の整備など、その内容は様々です。

そこで、4月1日から翌年3月31日までの1年間の収入(歳入)を見積もり、その収入の範囲内でどのような仕事に支出(歳出)するのか計画したものが予算です。

Q2 予算ってどうやって決まるの？

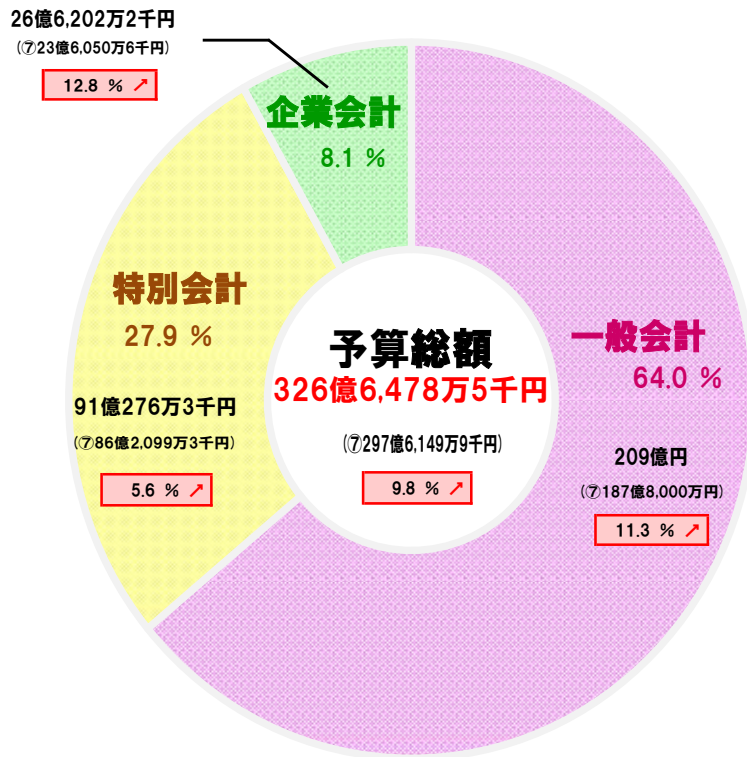
予算は、市長が予算案を作成して議会に提出し、議会での審議を経て、議決されることにより成立します。予算が成立してはじめて、市は行政サービスや各種施策を行うための費用を支出することができるようになります。

Q3 一度決まった予算は変わることはないの？

予算は、その年度の1年間(4月1日から3月31日まで)に必要とされるものは「当初予算」として、年度が始まる直前の3月議会で決まります。

年度の途中で、状況の変化により当初予算が足りなくなったり、余ったりした場合や当初予算にはないお金が必要になった場合は、「補正予算」として議会に提出し、当初予算同様に議会で決まります。

Q4 予算っていくらなの？

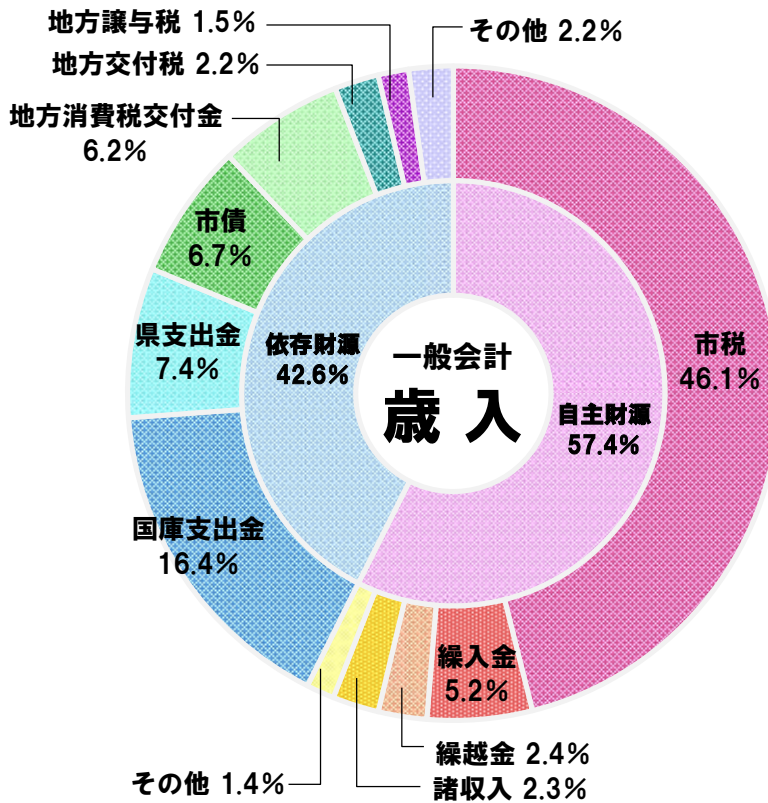


Q5 特別会計・企業会計ってどんなものがあるの？

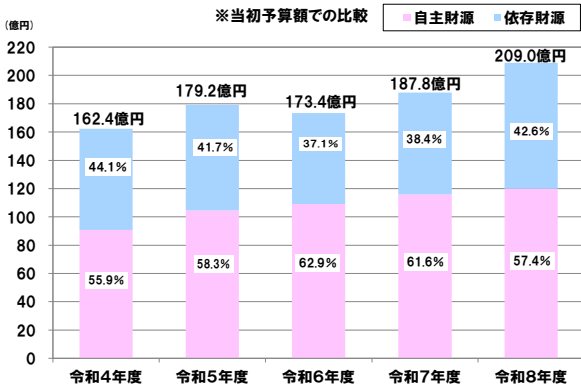
特定の事業について、歳入と歳出を一般会計と区分して整理する場合に、法律や条例によって設置される会計を「特別会計」、特定の事業について、民間企業に準じて利用料金などの収入により独自に採算を行っている会計を「企業会計」といいます。

区分	予算額	増減
土地取得特別会計	1億7,477万3千円 (7157万3千円)	11010.8% ↑
国民健康保険特別会計	38億9,180万円 (738億8,230万円)	0.2% ↑
後期高齢者医療特別会計	9億2,189万円 (78億5,892万円)	7.3% ↑
介護保険特別会計	41億1,430万円 (738億7,820万円)	6.1% ↑
特別会計合計	91億276万3千円 (786億2,099万3千円)	5.6% ↑
下水道事業会計	26億6,202万2千円 (723億6,050万6千円)	12.8% ↑
企業会計合計	26億6,202万2千円 (723億6,050万6千円)	12.8% ↑

一般会計の状況



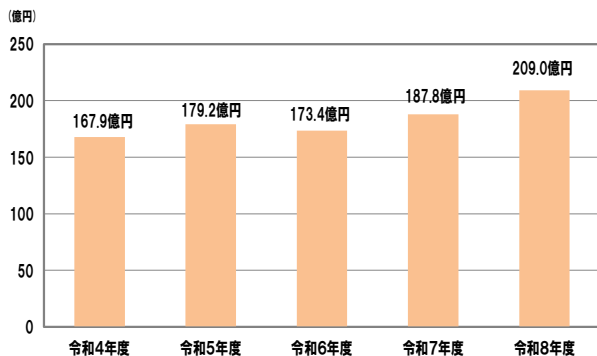
自主財源と依存財源の割合の推移

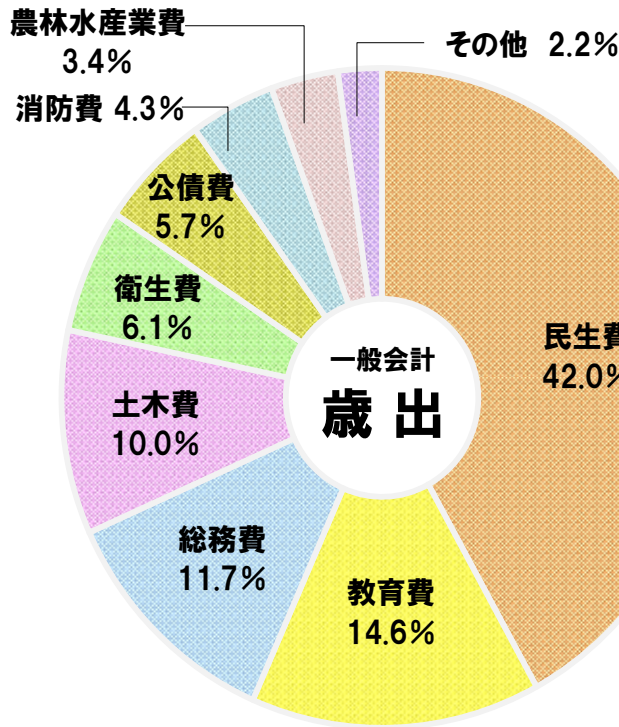


一般会計 歳入内訳

区分	予算額	増減	説明
自主財源	119億8,953万8千円 (7115億7,614万9千円)	3.6% ↗	市が自主的に収入するお金
市税	96億2,801万8千円 (794億9,184万3千円)	1.4% ↗	固定資産税、市民税、市たばこ税、軽自動車税、入湯税
繰入金	10億8,378万2千円 (78億2,502万円)	31.4% ↗	積立金の取崩しや特別会計から一般会計に移動させたお金
繰越金	5億円 (75億円)	0.0% →	前年度の予算の余りを翌年度に持ち越したお金
諸収入	4億8,864万2千円 (74億9,302万8千円)	0.9% ↘	預金利子、延滞金 など
その他	2億8,909万6千円 (72億6,625万8千円)	8.6% ↗	土地の貸付けなどによる財産収入、分担金や負担金 など
依存財源	89億1,046万2千円 (772億3,857万1千円)	23.7% ↗	国や県からの交付金・補助金などのお金
国庫支出金	34億2,583万円 (724億6,408万6千円)	39.0% ↗	特定の事業のために国から交付されるお金
県支出金	15億3,443万1千円 (713億3,069万8千円)	15.3% ↗	特定の事業のために県から交付されるお金
市債	14億700万円 (712億8,080万円)	9.9% ↗	国や金融機関などから借りるお金
地方消費税交付金	13億円 (711億7,000万円)	11.1% ↗	国が徴収した地方消費税の中から、市に交付されるお金
地方交付税	4億5,500万円 (73億2,650万円)	39.4% ↗	国が徴収した税金（所得税など）の中から、市の財政状況に応じて交付されるお金
地方譲与税	3億1,850万円 (72億1,300万円)	49.5% ↗	国が徴収した税金の中から、一定の基準によって市に交付されるお金
その他	4億6,970万1千円 (74億1,876万7千円)	12.2% ↗	上記以外で国や県からもらうお金
合計	209億円 (7187億8,000万円)	11.3% ↗	

最近5年間の一般会計予算額の推移





市民1人あたりの歳入・歳出の額

歳入

市民1人あたりが負担する税額

固定資産税 <small>土地や家屋、償却資産(事業用資産)にかかる税</small>	135,030円 <small>(58億6,301万8千円)</small>
市民税 <small>個人の所得や法人の収益に対してかかる税</small>	76,354円 <small>(33億1,530万円)</small>
市たばこ税 <small>たばこの消費に対してかかる税</small>	7,577円 <small>(3億2,900万円)</small>
軽自動車税 <small>軽自動車、自動二輪車などに対してかかる税</small>	2,754円 <small>(1億1,960万円)</small>
入湯税 <small>温泉に入るときにかかる税</small>	25円 <small>(110万円)</small>
合計	221,740円 <small>(96億2,801万8千円)</small>

歳出

市民1人あたりに使われる金額

民生費	202,106円 <small>(87億7,546万1千円)</small>
教育費	70,241円 <small>(30億4,986万6千円)</small>
総務費	56,085円 <small>(24億3,519万5千円)</small>
土木費	47,948円 <small>(20億8,188万8千円)</small>
衛生費	29,499円 <small>(12億8,082万7千円)</small>
公債費	27,643円 <small>(12億2,575千円)</small>
消防費	20,837円 <small>(9億4,757千円)</small>
農林水産業費	16,486円 <small>(7億1,583万3千円)</small>
その他	10,500円 <small>(4億5,592万5千円)</small>
合計	481,345円 <small>(209億円)</small>

※ 金額は、それぞれの予算額(カッコ内の額)を令和8年1月1日住民基本台帳人口の43,420人で割ったものです。

一般会計 歳出内訳

区分	予算額	増減	説明
民生費	87億7,546万1千円 <small>(782億3,538万円)</small>	6.6% ↗	社会福祉や生活扶助などに
教育費	30億4,986万6千円 <small>(723億3,442万4千円)</small>	30.6% ↗	教育や文化、スポーツの振興などに
総務費	24億3,519万5千円 <small>(722億5,429万5千円)</small>	8.0% ↗	市のさまざまな総合運営などに
土木費	20億8,188万8千円 <small>(714億5,883万5千円)</small>	42.7% ↗	道路の整備・管理などに
衛生費	12億8,082万7千円 <small>(712億5,030万円)</small>	2.4% ↗	ごみの処理、保健衛生などに
公債費	12億2,575千円 <small>(711億6,302万4千円)</small>	3.2% ↗	市の借金返済に
消防費	9億4,757千円 <small>(78億9,636万4千円)</small>	0.9% ↗	消防、災害対策などに
農林水産業費	7億1,583万3千円 <small>(77億7,919万1千円)</small>	8.1% ↗	農業振興、土地改良事業などに
その他	4億5,592万5千円 <small>(74億8,187万7千円)</small>	11.7% ↗	議会運営、商工観光などに
合計	209億円 <small>(7187億8,000万円)</small>	11.3% ↗	

一般会計を家計に当てはめると...

年間の収入総額を500万円として計算

歳入

家計		市の予算	
給料などの基本的な収入	280万3千円	市税、地方譲与税、交付金など	117億1,621万9千円 (56.1%)
親などからの援助	129万5千円	地方交付税、国・県支出金	54億1,526万1千円 (25.9%)
パート・家賃収入など	18万8千円	分担金及び負担金、使用料及び手数料、雑収入など	7億7,773万8千円 (3.7%)
預金の引き出し	25万9千円	繰入金	10億8,378万2千円 (5.2%)
前年の残金	12万円	繰越金	5億円 (2.4%)
金融機関からの借入れ	33万7千円	市債	14億7,000万円 (6.7%)
合計	500万円	合計	209億円 (100.0%)

歳出

家計		市の予算	
食費・日用品などの生活費	180万8千円	人件費、物件費	75億5,841万1千円 (36.2%)
医療費・教育費など	108万円	扶助費	45億1,269万6千円 (21.6%)
ローンの返済	28万7千円	公債費	12億2,575千円 (5.7%)
家屋や家電品などの修理	3万8千円	維持補修費	1億5,938万6千円 (0.8%)
子どもへの仕送りなど	105万3千円	補助費等、貸付金、繰出金など	44億2,197万6千円 (21.1%)
家屋の増改築・車の購入など	68万8千円	投資的経費	28億7,634万9千円 (13.7%)
貯金	4万6千円	積立金など	1億9,070万7千円 (0.9%)
合計	500万円	合計	209億円 (100.0%)

主な施策

総務費

コミュニティバス運行事業〈継続〉

1億2,100万円

市民の通学・通勤・通院・買い物など移動手段の確保と公共交通空白地域の解消を目的として公共交通の再編を進める中で、需要に応じた効率的で持続可能な地域公共交通ネットワークを構築するため、北部・南部の2ルートでコミュニティバスを運行し、市内全域でA Iオンデマンド交通の実証実験を継続します。



民生費

子ども医療費助成事業〈継続〉

2億6,997万5千円

「子育てするなら弥富市へ」をスローガンに掲げ、定住者の増加を図るため、通学のために市外へ転出した子どもを含む、高校生世代までの子どもの医療費にかかる自己負担額を全額助成します。



衛生費

予防接種委託事業〈拡充〉

1億9,777万6千円

B型肝炎、小児肺炎球菌、5種混合、BCG、MR、水痘、日本脳炎、2種混合、ロタウイルス、RSウイルスの定期接種に対して全額公費負担します。また、高齢者新型コロナ、高齢者帯状疱疹、高齢者インフルエンザ、高齢者肺炎球菌や定期接種以外の子ども及び妊婦インフルエンザ、おたふくかぜに対して公費援助します。



農林水産業費

農業振興事業〈継続〉

野菜集団産地整備事業	3,004万5千円
生産調整推進対策事業	2,988万8千円
土地改良区補助事業	7,795万6千円
経営体育成基盤整備事業	1,118万円
地盤沈下対策事業	2,500万5千円
特定農業用管水路特別対策事業	450万円
緊急農地防災事業	1,213万9千円
多面的機能支払事業	1億3,836万6千円

効率的な営農に向けて、土地利用の適正な管理や担い手への農地集積・集約化の推進に取り組むとともに、収益力向上を図るため農業者等の支援を行います。また、農地や農業用施設等の湛水被害を未然に防ぐため、農地防災事業を推進します。



土木費

自由通路等整備事業〈継続〉

7億3,593万円

J R・名鉄弥富駅周辺地区において、鉄道により分断された南北地区の連携強化、駅東西踏切を通行する歩行者・自転車の安全確保、高齢者・障がい者等の利便性を高めるバリアフリーに配慮した交通結節点の整備を図るため、J R・名鉄弥富駅自由通路及び橋上駅舎、弥富駅北口駅前広場の整備を行います。

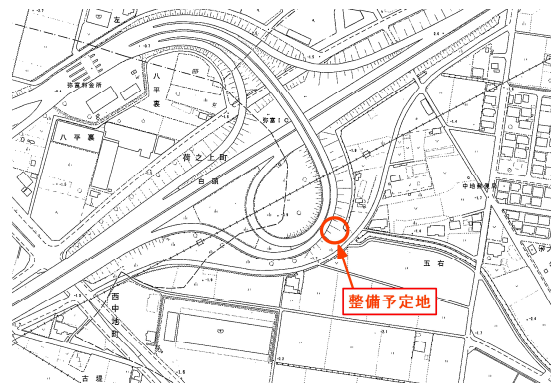


消防費

防災施設管理事業〈継続〉

2,000万円

中日本高速道路株式会社と令和6年度末に締結した協定に基づき、東名阪自動車道弥富インターチェンジに災害時の緊急時避難場所を整備します。



教育費

小学校再編整備事業〈継続〉

12億4536万5千円

よつば小学校開校に向け、既存校舎の南に職員室や児童の教室に用いる3階建校舎を増築し、既存校舎の長寿命化改良工事を行うとともに、体育館には空調を整備します。令和8年度は主に増築棟の建設工事を実施し、令和9年2月末の完成を目指します。



教育費

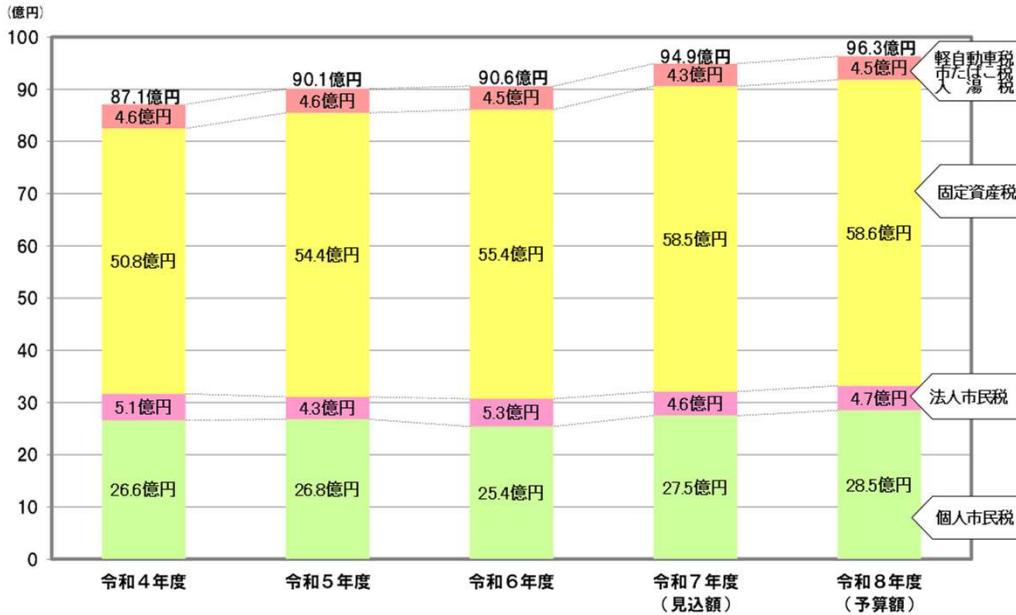
施設予約システム等導入事務委託事業〈新規〉

2,220万円

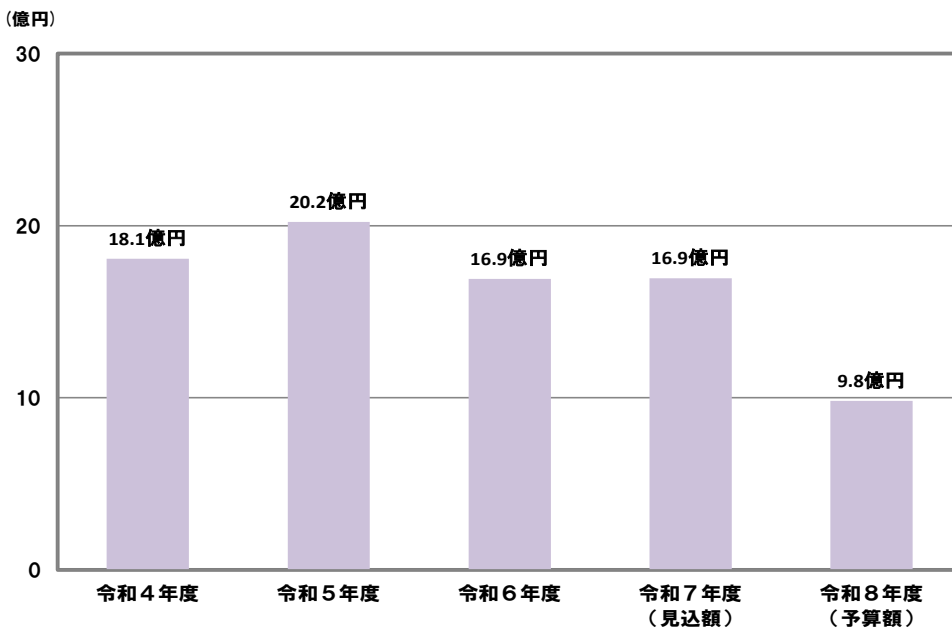
利用者の利便性の向上及び職員の業務効率化を図るため、利用者が窓口に来なくても利用許可申請を行えるよう施設予約システムを導入します。また、利用者へ多様な収納手段を提供するため、オンライン収納・キャッシュレス決済を導入します。さらに、利用者負担の軽減及び貸館施設における施設管理の効率化のため、一部の貸館施設でスマートロックキーを導入します。



市税収入の推移



財政調整基金の年度末残高の推移



Dictionary

地方公共団体が特定の目的のために積み立てた資金や資金運用のために設けた財産を**基金**といいます。**財政調整基金**は、社会の不況で税収が大幅に減ったり、災害が発生して急にたくさんのお金が必要になった場合などに備えて積み立てている市の**貯金**です。

編 集 愛知県弥富市総務部財政課

発行年月 令和8年3月

所 在 地 愛知県弥富市前ヶ須町南本田335

電 話 0567-65-1111 (代表)

